

## 1年歯科保健講話「口腔の重要性」～健口な女性になるために～

11月9日（月）の6・7校時、白梅ホールにて、和田歯科院長・学校歯科医の和田武彦先生と歯科衛生士の松島さんを講師に、1学年生徒205名と職員を対象とした健康教室がおこなわれました。

講演では、①歯と口腔のつくりと機能について、②歯と口腔を健康に保つためには、③ブラッシングの仕方と歯科衛生士の仕事について、④新型コロナウイルスと口腔衛生について、の4つの柱でお話いただきました。そして歯や口腔には「食べ物を取り込み、食べる」機能、「表情をつくり、話す」機能、「運動を支え、体のバランスを保持する」機能が備わっており、歯や口腔の健康保持には普段からの生活習慣が大きく関わっていることを学びました。

自分の歯や口の状態に関心を持ち、自律的に健康保持に取り組む姿勢を学び、卒業後も生涯にわたり心身ともに健やかで“社会で輝く女性”となるために生かせる講演となりました。生徒からは「歯周病を治すことは認知症の予防につながることを知った」「歯と健康の関わりを痛感したので、一日に一回は時間をかけて正しい歯磨きをしていきたい」「ホームケアだけでなく、定期検診でプロフェッショナルケアの重要性に気付いた」「コロナ禍で歯科の先生方が苦勞して治療をしていることを知った」などの感想がありました。

